

解説



編集委員会座談会

地方研究会，部会・委員会，専門分野，他学会とのつながりをどのように深めてゆくか

How to Deepen Relationships with Local Study Groups, Subcommittees / Committees, Specialized Fields, and Other Academic Societies

参加者：近岡淳（近岡技術経営研究所），矢野耕也（日本大学），中島建夫（元東京電機大学），
沢田龍作（サワダ技研），細井光夫（小松製作所），高橋和仁（神奈川県立産業技術総合研究所），
山本桂一郎（富山高等専門学校），窪田葉子（日本水環境学会），見原文雄（日本能率協会コンサルティング），
山村英記（東海理化），江末良太（IHI）
司会：坂本雅基（花王）

1. はじめに

司会 「地方研究会，部会・委員会，専門分野，他学会とのつながりをどのように深めてゆくか」というテーマで座談会を始める。去年は会員および部会・委員会を対象とした活動を進めてきたが，地方研究会や専門分野を対象にした活動は手つかずのところが多いと感じる。今回議論したいテーマとして挙げていただいた内容も，地方研究会あるいは専門分野，他学会とのつながりに関するものが多く，今回は「つながりを深める」というテーマで進めたいと思う。

去年1年間，「つながりを深める」ための活動を実際にやってみて，企画を入れるだけではなかなか動かないと感じている。投稿促進では特派員を置く，「QEスクエア」を活用するなどの意見も出てはいたが，まだ手が付けられていない。これをどうやって動かして行ったらいいかということについてご意見をいただければと思う。

近岡 坂本さんが指摘された編集委員会の活動の方向性としては非常に魅力的な項目が全部上がっていると思う。ただし，編集委員だけでやろうとすると無理が出てくるので，学会全体で学会誌を盛り上げ

ていくという視点もお願いする。

毎月部会長会議で横の連携も議論している。投稿規定の見直しは議論して進んだものの，学会誌の企画自体もそういうところでいろいろなメンバーを巻き込んで議論してほしいと思う。「QEスクエア」活用や他学会・専門分野とのコラボレーションとなると，それぞれがいろいろなルートを持っている。例えば私が主査を務めている日本品質管理学会との共同研究会である商品開発プロセス研究会のメンバーに執筆をお願いできる。実際にできることはいろいろあり，そういうことを踏まえながら学会誌の魅力を上げていくことについて，皆様に積極的にご意見をいただければと思う。

2. 他学会とのつながり

沢田 品質工学というどうしても深いところをどんどん深掘りされているが，横の広がりという意味では閉じこもったところの議論になっているのを感じている。一番広がる場所の他学会が品質管理学会に絞られて，品質管理というところまでである。持論を言うと，複雑系も含めた全体系，製品開発のプロセス全域にわたる全体を見た広がりがないとこ